

「まちづくりファンド」は、高知市に住むあなたのまちづくり活動を応援します

公益信託高知市まちづくりファンドニュース



まちファン

45号

2025年10月31日

2025年度公開審査会・2024年度最終発表会



最終発表会と公開審査会には多くの市民の皆さんが参加し、地域をより良くするためのアイデアが熱く語られました。会場には共感や応援の声があふれ、「こんなまちにしたい」という想いが広がる時間となりました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

事業の

企画・運営について参考になる事を沢山聞かせて頂きました。活動に対するフィードバックが詳しく、参加できて良かった。

2024 年度 最終発表会

公益信託 高知市まちづくりファンド

色々な

活動団体の取り組みを知ることができて非常に良かった。皆さんの活動を周囲に伝えたり、団体同士を何かのきっかけでつなぐ立場になれたらと思いました。

良いこと

ばかりしている団体が集まっているので、私たちもさらにがんばりたい。

多方面に

わたっての多団体の活動が実感としてとらえられる会でした。大いに参考になりました。まちファンの今後にさらに期待していきたいと思います。

卒業します

仁ノ八幡宮保存会 仁ノ八幡宮の祭りを盛り上げ、町を元気にしよう！



仁ノの万葉神社をアピールすることによって地域活性化しようと令和元年から新しい試みの秋祭りを開催。さらなる充実を目指して令和三年、まちファンに申請、お世話戴くこととなり、加えて、他団体との交流など、助成金だけではなく大きなメリットを得られた四年間となりました。これからも、この活動実績を糧として頑張っていります。まちファン関係者の皆様どうもありがとうございました。

成長すばらしいです！



●応募状況

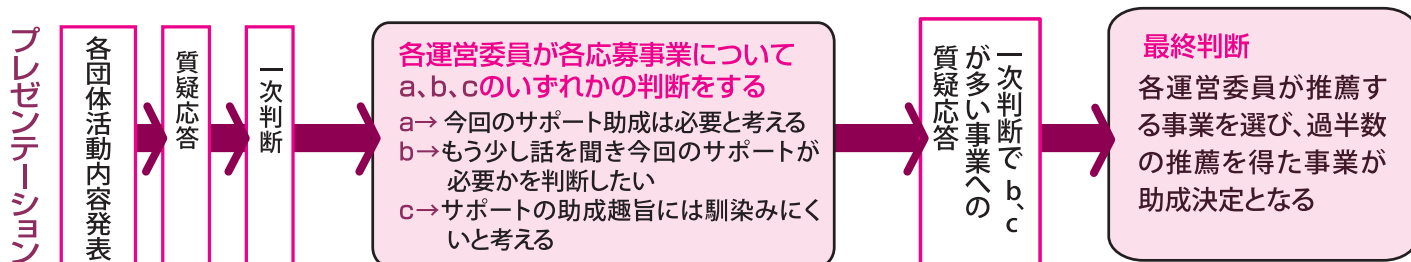
	【A】学生まちづくり	【B】ふくしまちづくり	【C】まちづくりはじめの一步	【D】まちづくり一歩前へ	【E】まちづくり拠点整備
応募事業数	2事業	1事業	4事業	5事業	1事業
採択事業数	2事業	1事業	4事業	5事業	1事業

【A・B・Cコース】

書類審査により助成を決定します。応募用紙提出後一定期間内に運営委員との質問等のやりとりを経て審査をおこない、結果をお知らせします。助成が決定した団体は公開審査会にて活動目的・内容を発表します。

【D・Eコース】

公開審査会にて活動目的・内容の発表後、公開審査によりその場で助成が決定します。



●A 学生まちづくりコース

上限
5万円

A1 街のバリアを知ろう、なくそう、考えよう
土佐の医療福祉に貢献し隊



障害のある方が「街に出かけたい」と思えるような環境づくりを目指し、文化祭で講演と座談会を開催します。地域の方や当事者の声に触れながら、外出の困難さやその背景を知り、リハビリ職として自分たちにできることを考える機会にします。イベントで出た意見は今後の活動にも活かし、誰もが安心して外出できるまちづくりにつなげていきます。

A2 若者が選挙に興味を持つことができる
まちづくりへ



若者選挙啓発団体「Our Vote, Our Voice!」

若者が政治や選挙をもっと身近に感じられるよう、高校生・大学生を対象にした模擬選挙イベントを企画しています。架空の政党を立ち上げ、高知市の課題に向けたアイデアや公約を発表。参加者はその内容をもとに話し合い、模擬投票を体験します。楽しみながら「自分の一票」の意味を考え、まちづくりへの関心や投票への意欲につなげていきます。



●B ふくしまちづくりコース

上限
10万円

B1 高齢者の方を対象に自立して
健康寿命を保つ
KOCHIうしおえライフウォーク



高齢者が元気に自立して暮らせるよう、月2回のウォーキングと座学を通じて健康づくりと交流を応援する活動です。みんなで楽しく歩いたり、会話を楽しんだりすることで、心と体の健康を保ち、認知症予防にもつながります。さらに、災害時に助け合える地域のつながりを育むことも大切にしており、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。



●C まちづくりはじめの一步コース

上限
10万円

C1 音楽の力でまちに笑顔と遊び場を!
かみほんグー会



音楽と季節のイベントを通じて地域に笑顔とつながりを広げる活動を行っています。誰でも自由に演奏できるストリートピアノなど、子どもも大人も一緒に楽しめる“遊び場”を地域に届けていきます。世代を超えたふれあいや交流を大切にしながら、音楽と遊びを通じてまちの魅力を高め、文化の力で地域を元気にすることを目指しています。

C2 ヨガフェスタを地域の健康づくりの一環に!
高知ヨガフェスタ



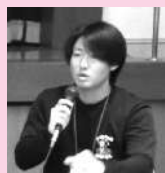
ヨガ体験を中心に、防災や子ども向け企画などを通じて、地域の健康とつながりを育むイベントを開催します。子どもから大人まで誰もが気軽に参加できる場づくりを大切に、心と体を整える時間を提供します。無料で参加できるヨガワークショップでは、健康への意識を高めるとともに、自分に合った健康法を見つけるきっかけとなることを願っています。

C3 春野町における高齢者支援を中核とした
多世代が参加する音楽会の開催
多世代交流音楽会実行委員会



高齢者を中心に、子どもから大人までが音楽を通じてふれあう地域イベントです。吹奏楽や合唱など多彩なプログラムを実施予定。自宅にこもりがちな高齢者が外に出るきっかけとなり、子どもたちには郷土への親しみを育む場を提供します。また、多くの世代が交流することにより、地域への関心や愛着を深めることも目的のひとつです。

C4 現役の消防士による 「笑顔の種をまく命のおはなし」 いのちを守るイベント実行委員会



現役の消防士や医療関係者が集まり、子どもたちや地域の皆さんに“命を守る力”を届けたいという思いで活動しています。火災や水の事故、突然のけがや病気、そんな時にどう動けばいいかを、講話や体験を通じて楽しく学べるイベントを企画しています。笑顔の種をまきながら、安心安全なまちづくり、人づくりを目指したいと思っています。



D まちづくり一歩前へコース

上限
30万円

D1 児童と保護者、学校、地域住民による アカウミガメの飼育 カレッタ

(高知市立春野西小学校保護者及び地域住民の有志)



小学校の児童・保護者・地域住民が協力し、絶滅危惧種アカウミガメの飼育を通じて、命の尊さや環境への意識、郷土への愛着を育む活動を展開しています。高知大学や地元団体と連携し、学習会や海浜活動を実施。地域の教育力と結束力を高め、子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、将来のまちづくりを担う人材として育つことを目指しています。

D2 世代間交流のできる居場所づくり 一般社団法人地域学校協働・家庭教育支援・ 世代間交流センター もうひとつの大きな家族



子どもから高齢者まで、誰もが安心して集える居場所づくりを進めています。子ども食堂や地域サロンを拠点に、工作・音楽・料理など多彩なイベントを通じて、地域の人々が自然に関わり合い、支え合う関係を育んでいます。今後は行政や企業とも連携を深めながら、住民自治による持続可能なまちづくりを進めていきたいと考えています。

D3 災害時でもあったかいご飯が食べられる 市民防災クッキングサークル「らっこ」



災害時でも温かい食事ができる「バッククッキング」の普及活動を行っています。毎月の試食会や調理講習を通じて、避難所での生活を想像するきっかけを提供し、防災意識の向上を図っています。今後は、地域の防災団体と連携し、防災フェアの開催や SNS での情報発信を通じて、災害に強いまちづくりを目指して活動していきたいです。

D4 うらど「風と音文化祭」 ～10年後も笑顔あふれる浦戸地区～ ふらっと浦戸



「10 年後も笑顔あふれる浦戸地区」実現のため、人々が快適に過ごせる居場所づくりをさらに進めていきます。夏祭りや神輿等の伝統行事と、文化祭やピザ会等の新しい企画を充実させます。また SNS を活用して、地域の魅力を積極的に発信します。小学校の存続と地域活性化を図り、高知市全体に希望を広げるモデルケースとなることを目指します。

D5 「カポエイラ」で人づくり、まちづくり CICABK(高知アフロブラジル文化コミュニティ)



カポエイラを楽しみながら地域の人と交流する活動を行っています。みづきコミュニティセンターでの定期練習に加え、楽器制作やブラジル文化を体験できる交流会も開催します。これまで子どもを中心に、幅広い世代のつながりが生まれてきました。活動に関わる人が増えれば、公民館を中心とした地域活性化につながると信じています。



E まちづくり拠点整備コース

上限
100万円

E1 日ごろの備えと地域の輪で、大切な人の 命を守る「防災コミュニティ広場」を 整備・活用しよう

秦地域連携協議会



保育園の跡地を整備して「防災コミュニティ広場」として活用する取り組みを進めます。災害時には避難場所として、ふだんはラジオ体操や季節のイベント、炊き出し訓練などを行い、地域のつながりを育んでいきます。また、子ども会や老人クラブを主体としたレクリエーションも開催し、みんなが気軽に集える拠点として活用していきたいです。

2025年度

公開審査会の様子を動画でご紹介！

公開審査会の様子を、高知まちづくり部（高知清掃隊）の山本稜平さんが撮影・編集してくださいました。



会場の雰囲気がぎゅっと詰まった内容です。ぜひご覧ください♪



高知まちづくり部 YouTube



▲緊張の一瞬です 質疑応答



▼各活動にシールを貼ります

2024年度

助成団体 最終発表会

▼赤ちゃんと一緒に学びます



A1

▲県庁で意見交換しました！



C2

▼ウミガメの飼育体験！



D6

▲みんなで収穫体験です



C1



D2

非日常な空間を楽しめます



F1

▲みんなで歩いて健康維持！



D7

▲地域の方が演奏してくれました！



D5

▲楽器を演奏しながらにぎやかに！



D4

▲屋外炊き出し体験で有事の備えに



F2

▲絵本をツールに楽しく交流



D8

▲「いのち」を伝えるコンサート



A 学生まちづくりコース

上限
5万円

A1 街のバリアを知ろう、なくそう、考えよう

土佐の医療福祉に貢献し隊

街のバリアに目を向け、障がいのある方に外出の困りごとについて聞き取り調査を実施。その結果、段差や道幅の問題、情報の届きにくさなどが課題として浮かび上がりました。そんな当事者の声を県庁へ届け、FM高知では活動を紹介する機会も得ました。これからも学生ならではの視点で、誰もが安心して出かけられるまちづくりに取り組んでいきたいです。



G まちづくりはじめての一步コース

上限
10万円

C1 学んで交流する0歳～1歳児 親子向けイベント

KIDSZOU(キッズぞう)

0～1歳児の保護者を対象に、子育てに役立つ知識を学びながら交流できる連続講座を開催しました。離乳食、事故予防、防災など多様なテーマを専門家とともに取り上げ、知識を得ると同時に参加者士の共感の場にもなっていました。今後は兄弟児の参加対応やスタッフの配置など、より参加しやすい環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。



C2 児童と保護者、学校、地域住民による アカウミガメの飼育

カレッタ (高知市立春野西小学校保護者及び地域住民の有志)

春野西小学校で、アカウミガメの飼育を通して、命の尊さや自然環境への関心を育む活動を続けています。今年度は、児童が「えがお」「こころ」と名付けたカメを、保護者や地域の皆さんと共に育てることで、郷土への愛着や人とのつながりが深まりました。子どもたちからの「いつもカメのお世話、ありがとうございます」の声に、まちづくりの手応えを感じています。

C3 あなたもできる防災・減災

こうち減災女子部

地域の防災力を高めるため、女性や子育て世代が参加しやすい講座や地域イベントを通じて、日常に寄り添った防災の知識を広めています。助成金で作成した防災パンフレットの配布により「何から始めればいいのか分からなかった」という声に寄り添うことができました。今後も防災を軸とした多様性のあるまちづくり活動を続けていきたいです。



C4 菜園場商店街を市民の力で盛り上げる 『菜園場LIKEプロジェクト』

菜園場市民の会

高齢化や時代の流れで活気が薄れつつある菜園場商店街を、市民の力で盛り上げようと、よさこい祭りに合わせて『菜園場LIKE』と記載されたうちわを配布しました。暑さ対策・応援・店舗紹介を兼ねたうちわは、SNSでも話題になり、商店街への関心の高まりを感じました。今後も伝統の灯を絶やさないよう、活動を積み重ねていきたいと考えています。





▲素敵なおちわでよさこい応援



▲0 から始める防災の備え



▲地域のみんなで学ぶ防災



▲たくさん参加してくれたお祭りでした♪



D まちづくり一歩前へコース

上限
30万円

D1 仁ノ八幡宮の祭りを盛り上げ、町を元気にしよう!

仁ノ八幡宮保存会

少子高齢化の進む春野町仁ノ地域で、まずは神社のお祭りを盛り上げ、地域への関心・関係人口を増やすことを目指し、活動を行っています。絵馬のイラストや短歌を公募する万葉芸術祭や、夏祭り、秋祭り、春祭り、短歌会などを開催し、協力者も徐々に増えてきています。一方で後継者問題という課題も抱えているため、早急な対策が必要だと考えています。



D2 重度障がい児(者)やご家族の為に スポ・レク活動教室の充実

はなまるキッズこうち

重度・重複障がい児(者)の家族の拠点として、困ったときに相談できる場を作ることを目指しています。今年度は、四国初となる障がい児イベントとしての気球係留を実施し、大人も子供も楽しめる非日常な空間を楽しんでもらいました。イベントをきっかけに交流が生まれたり、他の支援団体から今後のイベントの共催の相談をいただきました。



D3 地域とのつながり×防災

Différent

今年度は、今まで行っていた防災活動の対象者を、学校関係者から高知市民に拡大して活動を行いました。開催した防災イベントでは、多くの人達に楽しみながら防災について学んでもらうことができました。今後も高校生を含む多くの人たちに防災意識を高めてもらうため、企業などから協賛を得て、自立した活動を続けていきたいと思っています。



D4 災害時でもあったかいご飯が食べられる

市民防災クッキングサークル「らっこ」

災害時の限られた環境で、避難者同士が温かい食事を作ることで笑顔を取り戻す、そのためのバッククッキングの啓発を行っています。2024年度は様々な防災団体との連携が実現でき、幅広い活動を行う下地を作ることができました。連携団体と協力し、様々な側面から防災意識を高めることで、避難所生活の備えとなることを目指します。



D5 「カポエイラ」で人づくり、まちづくり

CICABK (高知アフロブラジル文化コミュニティ)

カポエイラを通して、健康促進と会場がある地域の活性化を目指しています。当初の課題であった保護者の理解について、SNSで定期報告をすることで、少しずつ信頼関係を築くことが出来ているように思います。またカポエイラの練習にポルトガル語を取り入れており、子どもから大人まで楽しんで異文化に触れる機会になっています。



D6 世代間交流のできる居場所づくり

一般社団法人地域学校協働・家庭教育支援・世代間交流センター もうひとつの大きな家族

世代間交流ができる居場所として、子ども食堂や地域・親子サロンを運営しています。「みんながハッピーで笑顔があふれるまち」を目指し、住民による地域の活性化が目標です。2024年度は博物館の学芸員や高知市まちづくり未来塾などと協働し、地域を知り学ぶ生涯学習イベントを開催出来たほか、イベント数やコラボ団体が増えました。



D7 うらど「風と音文化祭」

ふらっと浦戸

浦戸地域を盛り上げることで、他の過疎地域の希望の光になれるよう、イベント企画等を通して交流の輪を広げています。2024年度はうらど「風と音文化祭」を実施し、地域住民による軽音楽の演奏や日本舞踊、お菓子詰め放題など、町内外の約180人が参加しました。他にも色々なイベントを企画しており、活動が浦戸地域に浸透してきています。



D8 ～福祉・教育・文化の融合～ 「歌と映像と語りで伝える命の意味を」

エンドオブライフ・ケア高知

高齢者の多い高知県において、人と共に過ごせる居場所をつくっていききたい、そのきっかけづくりとして、「いのち」をテーマに映画上映会とコンサートを行いました。また、拠点を高知健康科学大学に置かせてもらえたこともあり、教職員や学生さんと直接接する機会にもなりました。様々な人との繋がりを大事にし、今後も事業を継続していきます。



F まちづくりたまごコース

上限
3万円

F1 高齢者の方を対象に自立して健康寿命を保つ

KOCHIうしおえライフウォーク

高齢者の方が自立して健康的な生活を続けられるよう、潮江地区で月2回のウォーキング活動を行っています。毎回5000歩を目標に、仲間との会話や交流を通じて心身の活性化を図りました。参加者からは「外出のきっかけになった」「会話が楽しい」と好評でした。今後は他地域にも活動を広げ、参加者を増やしていきたいと考えています。



F2 絵本を媒体にした子ども達と高齢者との交流

絵本を楽しむ棟の会

高知市薊野東町で、絵本の読み聞かせや詩の朗読などを行うことにより地域の交流を深めています。月1回の活動を通じて、少しずつ地域のつながりが芽生えてきました。子ども達の参加は少ないものの、挨拶やちょっとした助け合いが増え、温かな変化が感じられました。今後は絵本の魅力を広めながら、交流の場づくりを続けていきたいです。

おうち

増田ノオト

最終発表会・公開審査会を終えて ― 委員長のつぶやき



地域に根ざした活動は、外からの視点を取り入れることで、新しい可能性が広がります。そこから次の世代を育てる力も生まれてきます。いま少子高齢化が進む高知市にとって大切なのは、「大人の学び直し」。地域をあらためて見つめ直し、行動する大人の姿を見せることが、子どもたちの成長にもつながります。

だからこそ、みんなで経験を重ねながら「まちづくり」に関わる必要があります。活動を長く続けるには、楽しさやワクワク感、そして地域の支えが欠かせません。

ひとりで抱え込まず、チームや仕組みをつくって、地域の特性に合ったやり方で続けていきたいですね。まちづくりに正解はありません。問い続け、続けていくこと、そのこと自体に、大きな意味があるのだと思います。同じ思いを持つ仲間で、「高知市らしいスタイル」を形にしていきたいと思います。

●運営委員のコメント

●運営委員長

増田 和剛 高知中・高等学校



まちづくりとは「正解を探すこと」ではなく、「問い続けること」だと私は思います。地域にはさまざまな立場の人がいて、課題も、価値観も多様です。だからこそ、「対話すること」「耳を傾けること」がとても大切だと感じました。

●副運営委員長

堀 洋子 公益社団法人高知県建築士会



書類審査で決まる【A】【B】【C】の応募が7件あり、全応募団体が採択されました。取り組みは多様ですが、その中の1組の団体で事業内容から活動内容まで子供達と一緒に決定し（音楽の力でまちに笑顔と遊び場を!）をテーマにまちづくりに取り組む新しい形の活動団体が有りました。

●運営委員

尾田 妃菜 高知工科大学 経済マネジメント学群



団体の皆様の地域に対する思いと、継続・発展している活動内容にとっても感動しました。また、発表会の場で自然に生まれていた交流や、刺激を受け合う雰囲気も印象的でした。今後の活動も心から楽しみにしております。

●運営委員

佐竹 真紀 龍馬学園グループ 学校法人やまもも学園



みなさん、お疲れ様でした。回を重ねるごとに想いがしっかりと形になり、市民参加型のまちづくりが動き出していることが素晴らしいです。小さなコミュニティが社会を変えられることもあります。これからも一緒に情熱をパワーに変えていきましょう!

●運営委員

谷脇 禎哉 とさでん交通株式会社



多くの方々が地域・社会の課題解決に向け取り組まれていることに改めて尊敬の念を覚えました。それぞれ視点は違っても、地域での人と人との結びつきを上げ、コミュニティの核になる活動だと思います。報告会を楽しみにしています。

●運営委員

田辺 葵 高知工科大学 経済マネジメント学群



書面ではなく直接お話を聞いたことで想いや事業の意図を理解できました。公開審査会では全ての団体が採択を得て嬉しい思いと今後に期待する気持ちが大きいです。高校生や小学生の子供がまちづくりに関わり頑張られている姿にも心を動かされました。

●運営委員

宮地 貴嗣 ラ・ヴィータ宮地電機株式会社



一年間の活動お疲れ様でした。今回は継続される事業が多く、また、審査も比較的皆様の賛同が得られる結果でした。この結果に甘んずることなく、市民のためになっているか、自己満足で終わっていないか、事業を見つめなおしてください。これからの活動を期待しています。

●運営委員

山本 直子 聖建築研究所/ギャラリー樹下の舎



最終発表会と公開審査会に参加して、活動が育っていく過程を感じました。発表を公開で行うからこそ、他の団体さんの活動を知り、交流から広がりが生まれています。まちファンを「卒業」した活動の今後にも注目していきます。

●運営委員

吉本 怜 高知労働基準監督署



例年、最終発表会も公開審査会も後になって『あれを聞けば良かった』『こんな質問が出来れば良かった』と思に至る事が多くあります。各活動団体の頑張りや良いところを他の団体に伝わる様な質問や審査を行う事も運営委員の役割の一つと感じます。

寄付のお願い

まちづくりファンドは皆様のまちづくり活動を支援する仕組みです。

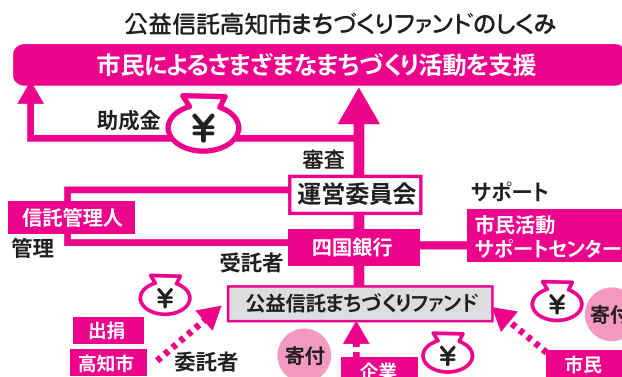
まちづくりファンドの創設にあたり、高知市から出捐（しゅつえん）された基金を毎年取り崩しながら助成しています。少しでも長く市民のまちづくり活動に活かせるよう、多くの皆様のご寄付をお願いいたします。

寄付に関するお問い合わせ・お申し込みは、下記にご連絡ください。

株式会社 四国銀行 コンサルティング部 信託担当
TEL 088-871-2201（直通）
〒780-8605 高知市南はりまや町1丁目1-1



寄付申し込みQRコード



お問い合わせ

高知市市民活動サポートセンター（月～金 10:00～21:00、土 10:00～18:00） TEL 088-820-1540
〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階
E-mail info@kochi-machifun.org https://www.kochi-saposen.net



高知市まちファン